



《安全管理》 じょくそう 褥瘡発生率

<項目解説>

褥瘡（床ずれ）は患者さまのQOL（生活の質）の低下をきたし、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は患者さまに提供されるべき医療の重要な項目の1つであり、1998年からは診療報酬にも反映されています。

褥瘡の治療は、発生予防がより重要となるため、知識の蓄積、予防の計画、予防の実施にかかる総合力が鍵となります。

<当院の実績>

【平成24年度】	1.0%
【平成25年度】	0.8%
【平成26年度】	0.5%

<当院の自己点検評価>

褥瘡の予防ならびに早期発見のためには、職員全員が褥瘡に関心を持つ事が重要です。

そのためにすべての看護職員を対象とした研修を実施しており、その内容はベッド挙上による体のズレの体験、エアーマットの適正圧のチェック方法の会得、体位変換枕の当て方、スキンケアなどを実施しています。

この研修を通して褥瘡への理解を深め、早期発見、院内褥瘡発生率低下につなげていきたいと考えています。

<定義>

褥瘡発生率（入院してから新しく褥瘡を作った患者数の比率）

<算式>

分子：新規褥瘡発生患者数

分母：入院患者実数